

| | | | |
|---|-------|------|------|
| 科目名 | 現代の国語 | | |
| 講座名 | 現代の国語 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| <履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| <講座内容> | | | |
| <p>・実社会に必要な国語の知識や技能を習得する。</p> <p>・「話す・聞く・書く・読む」の言語活動を通して、的確に読解及び表現できるようにし、論理的に考える力や伝え合う力を高める。</p> <p>1. 論理的文章他…筆者の主張や場面展開を的確に読み取り、物事に対する多面的な視点を育成し、基本的な読解方法を習得する。</p> <p>2. 実用的文章…法律文や新聞、ポスターなどを読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連付けて理解する思考力を習得する。</p> <p>3. 言語活動…話して伝えたり、書いて伝えたりする活動を通して、目的や場面に応じて適切に伝わるような工夫の仕方を学ぶ。</p> | | | |
| <履修上の注意> | | | |

| | | | |
|---|------|------|------|
| 科目名 | 言語文化 | | |
| 講座名 | 言語文化 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| <履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| <講座内容> | | | |
| <p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>・「書く・読む」の言語活動を通して、的確に読解及び表現できるようにし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしながら思考力や想像力を高める。</p> <p>・古文、漢文の正しい解釈の仕方を学び、当時の人々の行動や心情等を読み取る読解力を高める。</p> <p>1. 古文…古典文法における基本的な知識を習得する。古文世界に親しむために作品等の歴史的、文化的背景等を理解する。</p> <p>2. 漢文…漢文法における基本的な句法を習得する。日本の言語文化の特質に漢文が影響を及ぼしていることを理解する。</p> <p>3. 近現代の詩歌や伝統文化に関わる文章…日本の言語文化にある特徴的な語感を学び、我が国の言語文化に対する幅広い知識を習得する。</p> | | | |
| <履修上の注意> | | | |

| | | | |
|---|------|------|------|
| 科目名 | 歴史総合 | | |
| 講座名 | 歴史総合 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| <履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| <講座内容> | | | |
| <p>・世界と、その中における日本について、現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を理解します。</p> <p>・「近代化と私たち」「国際秩序の変化や大衆化と私たち」などの観点に立ち、それぞれの分野の歴史の概要を学び、諸課題を考察します。</p> <p>・学習方法や課題の探究方法を身につけ、積極的な表現・発表・意見交流を行います。</p> | | | |
| <履修上の注意> | | | |

| | | | |
|--|------|------|------|
| 科目名 | 地理総合 | | |
| 講座名 | 地理総合 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 1. さまざまな地図や地理情報システム(GIS)の見方、活用の仕方を学びながら、地理的技能を身につけます。 2. 世界の地形、気候、言語・宗教、歴史的背景、産業と人々の暮らしとのかかわりについて学び、地球的課題の解決に向けて何ができるか考察します。 3. 日本の自然環境とさまざまな災害について学び、持続可能な地域社会をつくるために減災や防災の観点から何ができるか考察します。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|--|-----|------|------|
| 科目名 | 数学Ⅰ | | |
| 講座名 | 数学Ⅰ | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 「第1章 数と式」では、方程式、不等式について学習する。 「第2章 集合と命題」では、集合、命題、逆・裏・対偶について学習する。 「第3章 2次関数」では、グラフ、方程式、不等式、最大・最小について学習する。 「第4章 図形と計量」では、三角比、正弦定理、余弦定理について学習する。 「第5章 データの分析」では、データの整理、分析、相関について学習する。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|---|-----|------|------|
| 科目名 | 数学Ⅱ | | |
| 講座名 | 数学Ⅱ | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 1単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| 「数学Ⅰ」履修後に履修・1,2年継続履修 | | | |
| ＜講座内容＞ 「第1章 式と証明」では、整式の乗法・除法と分数式、二項定理、恒等式、等式・不等式の証明について学習する。 「第2章 複素数と方程式」では、複素数とその計算について学習する。 「第3章 図形と方程式」では、点・直線・円、軌跡と領域について学習する。 「第3章 三角関数」では、一般角の三角関数、三角関数の加法定理について学習する。 「第4章 指数関数と対数関数」では、指数、対数とそれらの関数について学習する。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|---|-----|------|------|
| 科目名 | 数学A | | |
| 講座名 | 数学A | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 「第1章 場合の数と確率」では、順列・組合せと確率の性質について学習する。 「第2章 図形の性質」では、三角形・円、作図、空間図形について学習する。 「第3章 整数の性質」では、ユークリッド互除法と不定方程式、 n 進数について学習する。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|---|------|------|------|
| 科目名 | 物理基礎 | | |
| 講座名 | 物理基礎 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 1. 力学…①物体の運動 ②運動方程式 ③仕事とエネルギー 2. 熱…①熱と温度 ②仕事と熱 3. 波…①波の性質 ②音 4. 電気…①静電気と電流 ②磁場と電流 5. 物理と生活…エネルギーとその利用 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|--|------|------|------|
| 科目名 | 生物基礎 | | |
| 講座名 | 生物基礎 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 1. 生物の特徴……………①生物の多様性と共通性 ②細胞とエネルギー 2. 遺伝子とそのはたらき……………①遺伝情報とDNA ②遺伝情報の複製と分配 ③遺伝情報とタンパク質の合成 3. 生物の体内環境の維持……………①体内環境と恒常性 ②体内環境の維持のしくみ ③免疫 4. 生物の多様性と生態系……………①多様な植生と遷移 ②気候とバイオーム ③生態系とその保全 観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解します。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|--|------|------|-----|
| 科目名 | 美術 I | | |
| 講座名 | 美術 I | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年選 |
| <p><履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)</p> <p>選択必修</p> | | | |
| <p><講座内容></p> <p>1. 「観察して描く」…徹底的な観察を通し、客観性を養う。</p> <p>2. 「自己を描く」…「自分」という個性を掘り下げ、明暗や色彩で表現する。</p> <p>3. 「架空の生き物」(立体表現)…自由な発想でアイデアを出し、形や色彩で表現する。</p> <p>4. 鑑賞…作品のよさや美しさを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて理解を深める。</p> | | | |
| <p><履修上の注意></p> <p>指定教材の購入が必要</p> | | | |

| | | | |
|---|------|------|-----|
| 科目名 | 書道 I | | |
| 講座名 | 書道 I | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年選 |
| <p><履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)</p> <p>選択必修</p> | | | |
| <p><講座内容></p> <p>・「書写から書道へ」では、書写と書道の共通点と相違点を理解する。</p> <p>・「漢字の書」では、さまざまな古典を臨書し、創作へと結びつける。</p> <p>・「漢字仮名交じりの書」では、漢字と仮名の調和した表現について学び、創作する。</p> <p>・「仮名の書」では、仮名の書の特徴を古筆から学び、散らし書きをする。</p> <p>・「篆刻」では、自分の名前の印を刻む。</p> | | | |
| <p><履修上の注意></p> <p>書道用具の準備や指定教材の購入が必要</p> | | | |

| | | | |
|---|---------------|------|------|
| 科目名 | 英語コミュニケーション I | | |
| 講座名 | 英語コミュニケーション I | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 3単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| <p><履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)</p> | | | |
| <p><講座内容></p> <p>英語で書かれた情報や考えなどを的確に理解するための基礎的な能力を養い、英語を使ってコミュニケーションを取ることができることを目標とする。英語で話されていることを聞いたり、英語で書かれたものを読んだりして得た内容をもとに、英語で話したり書いたりする言語活動を行いながら、英語を学ぶ。</p> | | | |
| <p><履修上の注意></p> | | | |

| | | | |
|---|---------|------|------|
| 科目名 | 論理・表現 I | | |
| 講座名 | 論理・表現 I | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら自分の考えを的確に伝える能力を養う。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|---|------|------|------|
| 科目名 | 家庭基礎 | | |
| 講座名 | 家庭基礎 | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 1「人の一生と家族・家庭及び福祉」の中では、生涯の生活設計、青年期の自立と家族・家庭、子どもの生活と保育、高齢期の生活と福祉、共生社会と福祉の5項目について学ぶ。 2「衣食住の生活の自立と設計」の中では、食生活と健康、衣生活と健康、住生活と住環境の3項目について学ぶ。 3「持続可能な消費生活・環境」の中では、生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境の3項目について学ぶ。 4「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の中では、授業で学んだことを生かして、課題に取り組む。家庭クラブ活動を計画し、実践する。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |

| | | | |
|---|------|------|------|
| 科目名 | 情報 I | | |
| 講座名 | 情報 I | | |
| 履修年次 | 1年次 | 文理別 | 全 |
| 単位数 | 2単位 | 履修区分 | 1年全員 |
| ＜履修条件＞(必修科目が履修条件になっている場合は省略) | | | |
| ＜講座内容＞ 1. 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報モラルに配慮した態度を身に付ける。 2. 情報デザインの考え方や方法とコンテンツを表現し、評価し改善する力を身に付ける。 3. アルゴリズムとプログラミングを学習し、情報の科学的な見方・考え方を身に付ける。 4. データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。 | | | |
| ＜履修上の注意＞ | | | |